

高齢者施設・障害者施設の 感染対策事例集

講習動画 環境整備

東京iCDC専門家ボード
感染制御チーム

東京科学大学大学院
具 芳明 先生



環境整備の基本

- 環境整備は整理整頓から始まります。物を減らし、適切に配置することによって、清掃や消毒を徹底し清潔な状態を維持することができます。
- 消毒を行う場合は、消毒薬を適切に選択・管理することに加え、消毒薬が必要な面にきちんと触れる必要があります。ポイントを押さえて理解しましょう。
- 日頃からきれいな（清潔な）ものと汚れた（汚染された）ものを明確にわけることが大切です。物品を少なくすることで清潔な物品が汚染される機会を減らすことができます。思わぬ形での感染の広がりを防ぐことができます。

整理整頓をしましょう



✕ 間違った事例

職員が使用するエリアが雑然としており、環境清掃を行う際に効果的に実施できていなかった。

○ 正しい事例

物を減らして整理整頓することで環境清掃をしやすくする。

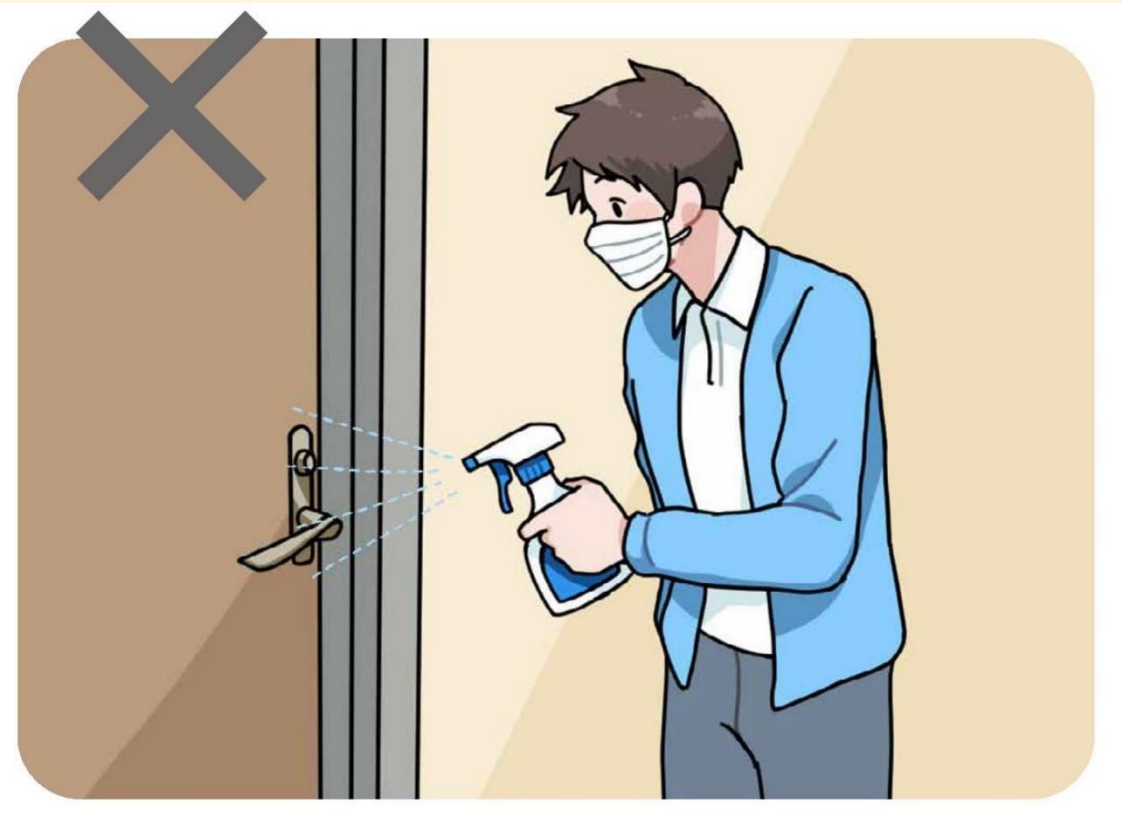
整理整頓をしましょう



解説

多くの職員が触れる場所を中心に整理整頓に努め、清拭の妨げにならないように工夫しましょう。

消毒薬は清拭することが重要です



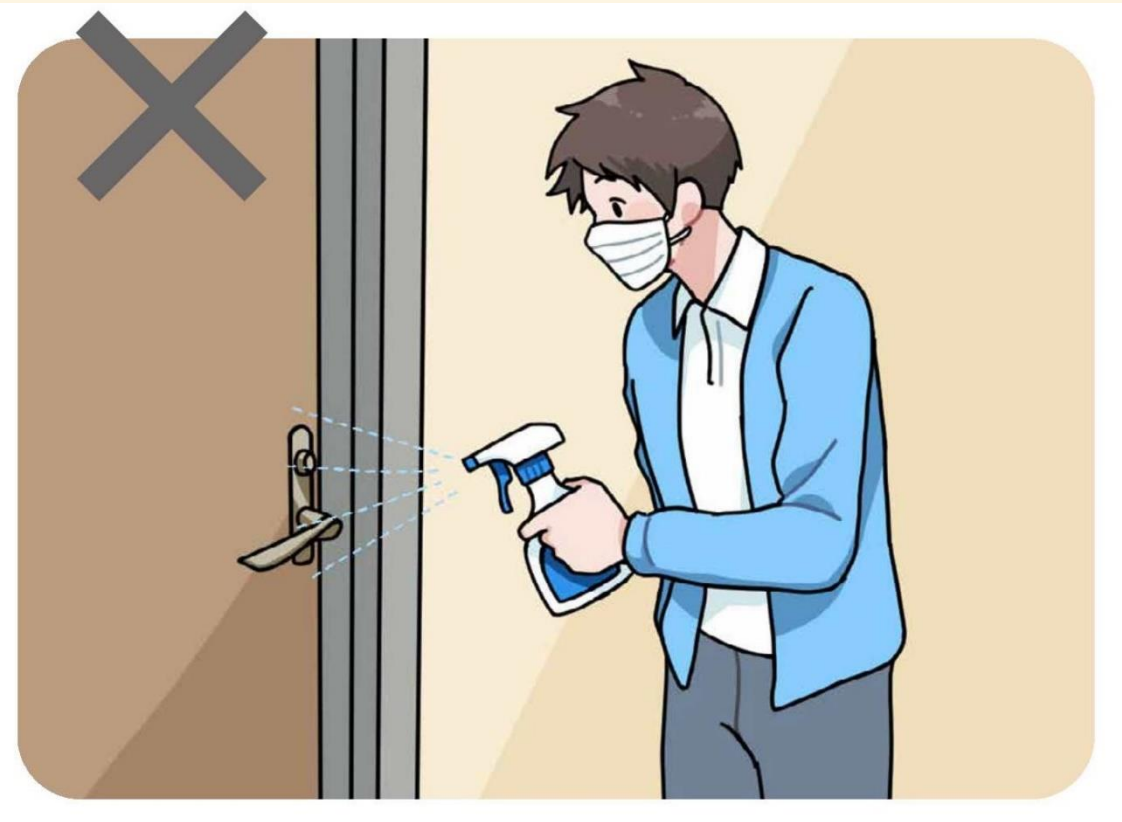
✕ 間違った事例

汚染箇所へ消毒薬の噴霧のみ行い、清拭していない。

○ 正しい事例

手すりやドアノブなどの汚染箇所を消毒するときは、消毒薬を染み込ませたクロスで清拭している。

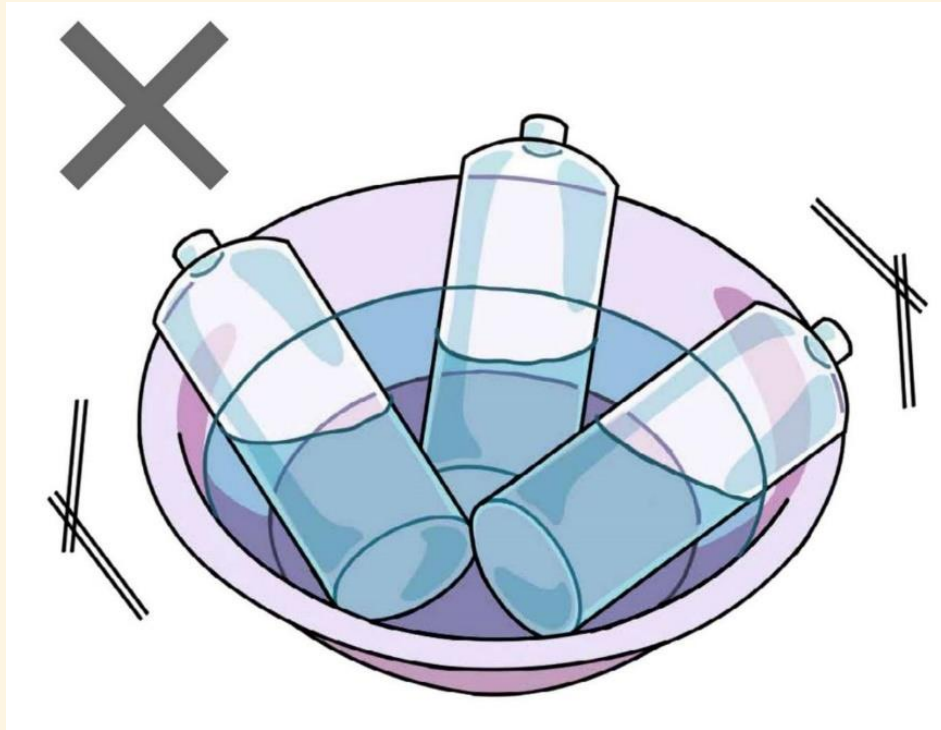
消毒薬は清拭することが重要です



解説

環境表面の消毒は、クロスで清拭することが重要です。スプレーボトルに入った消毒薬を使用するときは、クロスに噴霧したうえで、汚染箇所を拭き取りましょう。

浸漬消毒は全体を浸しましょう



✕ 間違った事例

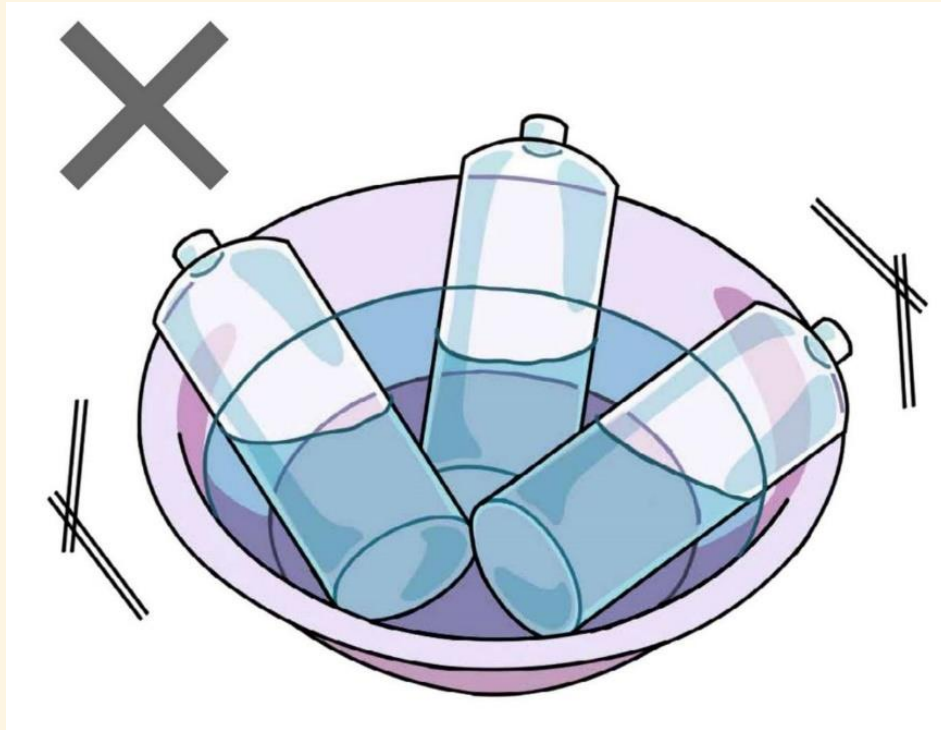
一部が消毒液から浮いている。



○ 正しい事例

全体が消毒液に浸かっている。

浸漬消毒は全体を浸しましょう



解説

浸漬消毒では、薬液と触れている面しか消毒されません。全体を浸漬できる大きな容器を使用するとともに、内腔に空気が残らないよう浸漬する、浮きあがらないよう落とし蓋や重しを使用するなどの工夫で、全体を消毒薬に漬ける必要があります。

希釈した次亜塩素酸ナトリウム溶液は作り置きせず、使用当日に作りましょう



× 間違った事例

次亜塩素酸ナトリウム溶液を希釈して作り置きし、消毒効果がなくなったものを使用している。

○ 正しい事例

使用の都度、次亜塩素酸ナトリウム溶液を希釈して作っている。

希釈した次亜塩素酸ナトリウム溶液は作り置きせず、使用当日に作りましょう



解説

希釈した次亜塩素酸ナトリウム溶液は、時間とともに消毒効果が低下します。また、次亜塩素酸ナトリウムは紫外線に弱く、日光が当たると分解されて効果が失われるため、原液は冷暗所で保管します。

おう吐物や排泄物が付着した衣類は、次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒します



✕ 間違った事例

おう吐物や排泄物が付着した衣類の消毒に、衣類洗濯用の酸素系漂白剤を使用している。

○ 正しい事例

おう吐物や排泄物で汚れた衣類は、付着物を取り除き、感染性胃腸炎を想定して次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒後、洗濯している。

おう吐物や排泄物が付着した衣類は、次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒します



解説

酸素系漂白剤は、衣類や環境の消毒には適しません。物理的に汚れを除くことによる除菌の効果にとどまります。

※塩素系漂白剤と酸素系漂白剤をまぜてはいけません。塩素ガスが発生し危険です。

おむつカートを使用するときの注意



✕ 間違った事例

介護の時などにおむつカートを使用する際に、カートに物品を山積みにし、汚染された物と清潔な物とが混在していた。

○ 正しい事例

おむつカートを使用する場合は、積載する物を極力減らして、汚染された物と清潔な物とを明確に分別する。

おむつカートを使用するときの注意



解説

おむつカートを介して感染が広がる危険があります。おむつカートを使用せざるを得ない場合は、物品をできるだけ少なくし、清潔な物と汚染された物を分けます。

おむつカートを使用するときの注意



解説

具体的には、①おむつカートの下段はホコリが舞い上がりやすいため不潔区域とし、上段を清潔区域とする方法がありますが、②可能であればおむつカート全体を不潔区域とし、清潔専用カートを別途用意する方法が望ましいです。また、利用者一人のケアを行う毎に、手指消毒とPPE(個人防護具)の交換が必要です。

おむつカートを使用するときの注意



補足事例

おむつカート上に①きれいな手袋と②ゴミ箱が隣り合って置かれ、清潔な物品が汚染されるリスクがあります。汚染された物と清潔な物は明確に分けましょう。ゴミ箱は清掃可能（例えばプラスチックの容器など）で蓋付きのものを使いましょう。